

宮城県松山高等学校

《校訓》意欲・創造・規律・連帯

《校是》至誠・感恩

「志教育」の目標

- 1 何事にも誠実(至誠)で感謝(感恩)する気持ちを大切にする生徒を育成する。
- 2 規律を理解し、進んで貢献する生徒を育成する。
- 3 自ら動き将来の生き方を発見する生徒を育成する。
- 4 素晴らしい「偶然」に出会える場を設定する。



重点指導事項

- | | |
|------------------------|--|
| 人と「かかわる」
(連携) | ①学校行事やHR活動を通して他の生徒と交流する中で、コミュニケーション能力の醸成を図り、よりよい人間関係を築く力を育てる。
②地域や上級学校の協力を受けて、社会人と積極的に関わる機会を設け、社会性、協調性を養う。 |
| よりよい生き方を「もとめる」
(意欲) | ①教科教育、特別活動、進路学習、部活動などを通して、達成感、自己肯定感を涵養し、自己の目標の実現に向けて意欲的に努力を重ねる姿勢を育てる。 |
| 社会での役割を「はたす」
(創造) | ①学校行事を通じて、全体の中での自己の役割を理解し、責任を持って行動する姿勢を育てる。
②地域での福祉体験実習や職場見学、救急救命講習、インターンシップ等の実施を通して、自己理解を深め、社会に貢献する姿勢を育てる。 |

総合的な探究の時間

【インターンシップ】

地元企業の協力を頂き、職場体験をさせて頂きました。「一ノ蔵」では社内食堂の献立作成と調理をさせて頂きました。社員の方から多くのことを学ばせて頂き、非常に充実した3日間を過ごしました。



【合同企業説明会 in 松高】

本校の1・2年生合同で企業説明会を行いました。生徒計104名を対象に業種・職種についてや仕事内容・就職で大切な資質等の講話を頂きました。参加企業も製造・看護・介護・ホテル業務・販売・公務員と他職種にわたりました。生徒にとっても進路について検討する良い機会になりました。



【ONEUP】

本校では縦割り活動の一環として、生徒のコミュニケーション能力の向上を目指す ONEUP ゼミを行っています。開講される内容は、先生方の趣味・特技が十分に生かされている内容になっています。先生方の趣味を通して、普段関わらない人とも楽しく活動することができます。



各種活動

【松山イルミネーション】

本校有志の生徒がペットボトルでイルミネーションを作り、松山ポケットパークに設置しました。



宮城県松山高等学校 学校紹介

ここ松山の地は、伊達家の重臣であった茂庭氏が治めた城下町で、当時のたたずまいの町並みが残る風情あるところです。

その城(館)跡に位置する本校は、昭和7年(1932年)、町立松山女子専修学校として開校以来、学制改革を経て、昭和55年(1980年)に宮城県松山高等学校として独立。今年で42年を迎える、普通科・家政科、各学年それぞれ1学級149名(男子36名、女子113名)が学ぶ学校です。

小規模校の利点を生かし、一人ひとりの生徒に対して、きめ細やかな個に応じた指導より、郷土に親しみを感じ、地域に貢献できる人材の育成に取り組んでいます。



生徒会スローガン



松高祭全校製作「和紙ランタン」



松高祭クラス製作バナー

家政科の取り組み

松山高校家政科には調理コース・被服コース・保育コースの3つのコースがあります。それぞれのコースが地域と交流しながら成果を発表したり学びを深めたりしています。

コース別の活動

~調理コース~



~被服コース~



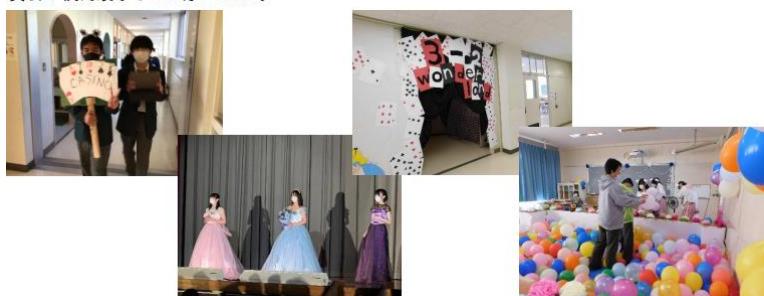
~保育コース~



生徒会活動

【松高祭の運営】

今年度の松高祭は、生徒の家族をお招きし、学校公開をすることができました。その他、芸術鑑賞会や校内展示などを行いました。



地域交流

【コスモスロードの植栽・抜き取り】

ボランティア委員会を中心に、社会福祉協議会と協力して各種活動を行っています。



【高齢者配食サービス】

大崎市社会福祉協議会松山支所で実施している高齢者配食サービスに、本校の調理コースがレシピ考案という形で参加しました。生徒が考案した高齢者向けお弁当のレシピをもとにして作られたお弁当が地域の高齢者に届けられました。

